

1 国語に関する調査

【特長】

- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる問題について、多くの児童が正しい答えを選択することができていた。
- 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができていた。

【課題】

- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られる。
- 記述式の問題において、自分の考えをまとめて文章に表すことに課題が見られる。多くの文章に触れ、書き方の習熟を図り、目的に応じて書く学習にさらに取り組む必要がある。

2 算数に関する調査

【特長】

- 一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる問題では、多くの児童がよくできていた。
- 正方形の意味や性質に対する理解を問う問題や「以上」という言葉の意味の理解を問う問題について、多くの児童がよくできていた。算数の学習の中で繰り返し登場する内容、語句、用語などは定着している。

【課題】

- 台形の定義や、正三角形の性質などの理解に課題が見られる。また、三角形の面積を出す公式を覚え形式的に当てはめて問題を解くことはできるが、その公式があらわす意味については十分に理解できていないと考えられる。
- 筆算を使って計算することはできるが、各段階の商の意味を考えることに課題が見られる。筆算を具体物や図と関連付けて考察したり、具体物の操作や、図で考えた結果を式に表したりして、筆算を式と関連付けて考察できるようにすることが重要である。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 先生が自分のよいところを認めてくれていると感じている児童の割合が高く、安心して登校することができていると考えられる。
- 折に触れ中学や高校での学習や学校生活の様子などについて話し、少し先の生活をイメージさせたり、企業や施設から体験活動や講演会を受けたりしたことで、将来の夢や目標を意識できるようになった児童が多い。

【課題】

- 毎日朝食を食べたり、毎日同じくらいの時刻に寝起きしたりすることが身に付いていない児童もいる。基本的な生活習慣が身に付くようにすることが必要である。
- 自分と違う意見について考えることを楽しいと感じる児童の割合が低い。意見の対立が苦手な児童が多くいると考えられるので、多様な考えを受け入れたり自分の考えを発表したりすることに慣れるために、話し合い活動の場をさらに積極的に取り入れていく必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 目的に応じて自分の思いを伝えることができるようにするために、「相手を意識した伝える力の育成」を高学年のテーマにし、ICT 機器などを活用した授業について研究を進めていく。
- 読書推薦文や卒業文集など、書く活動を行う機会を増やし、目的や意図に応じて、自分の考えを伝える力を育てていく。
- 学習のねらいに応じて、ペア学習、グループ学習等の学習形態を工夫し、自分の考えに自信をもち、主体的に話し合いを行う場の充実を図る。
- 学校生活をよりよくするために、行事、委員会活動、クラブ活動、異学年交流等の特別活動を充実させ、児童が活躍する場を設定する。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 家庭での過ごし方や家庭のルールについて、お子さんとよく話し合い再確認してください。特にゲームやインターネット等の利用時間や就寝時間をしっかりと決め、健康的な生活リズムが身に付くようご協力をお願いします。
- お子さんが主体的に学習に取り組めるよう、家庭でのサポートをお願いします。
- 子どもたちが毎日楽しく生活するためには、地域の方の見守りが欠かせません。今後も積極的に子どもたちにお声かけいただき、地域全体で見守っていただけるようご協力をお願いします。